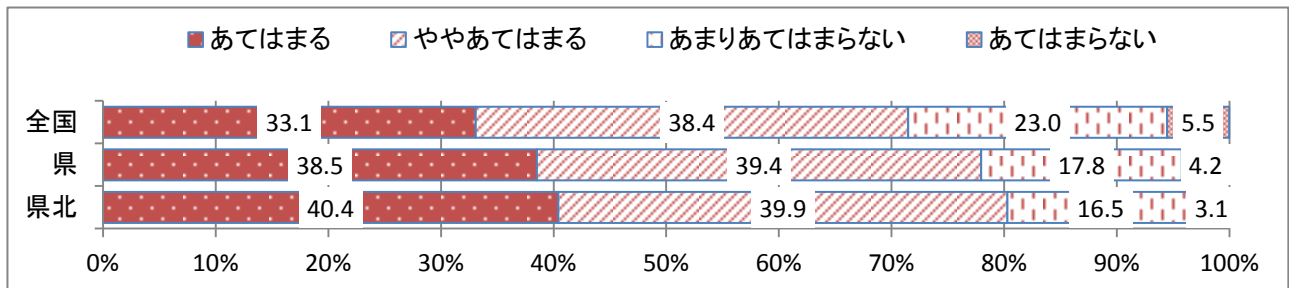


※ 項目先頭の番号は、成果が□囲み、課題が反転の■囲みとなっています。

1 自己マネジメント力の育成に成果が見られます

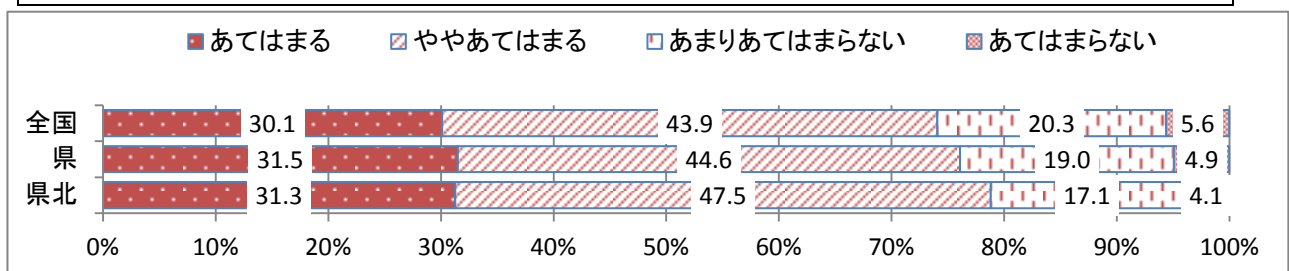
児童質問(17) 家で、自分で計画を立てて勉強しているか。



- 肯定的な回答(1・2)の割合が、全国を大きく上回っている。県北の8割を超える児童が、自分で学習の計画を立て、見通しをもって家庭学習を進めている。
- 一方、授業以外の学習時間(平日)を問う児童質問(18)では、県、全国に比べて学習に取り組む時間が短い傾向にある。各校においては、「家庭学習スタンダード」を活用するなど、家庭学習の質を高める指導を工夫し、習慣化を図ることが求められる。

2 集団で取り組み、達成感を味わう指導が行われています

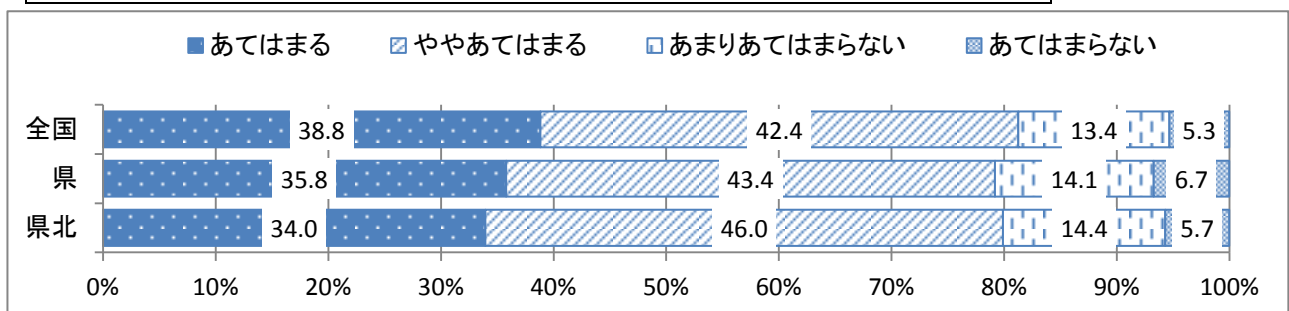
児童質問(32) 話し合い、互いのよさを生かし、解決方法を決めているか。



- 肯定的にとらえている児童(回答1・2)が約8割で、全国及び県を上回る割合を示している。
- 今後も、集団での合意形成を図る場面を確保し、よりよい集団づくり・人間関係の形成を進める中で、「自分の考えを深める」話し合い【児童質問(34)】、「理由付け」「組み立ての工夫」のある話し合い【児童質問(43)】へと目的に応じた話し合いができるように児童の意識を育てていきたい。

3 自尊感情を育む指導が今後も必要です

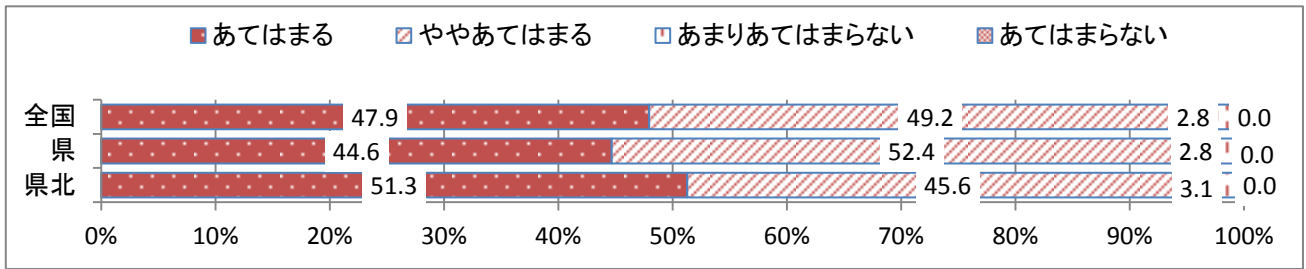
児童質問(5) 自分にはよいところがあると思うか。



- 肯定的な回答(「1 当てはまる」)が、全国、県を下回る。
- 児童質問(9)の「やり遂げた経験・達成感」も全国・県に比べると低い割合を示す。道徳教育の充実を図るとともに、特別活動などを通して、自己有用感を感じる体験を多く積ませたい。

4 PDCAサイクルが機能しています

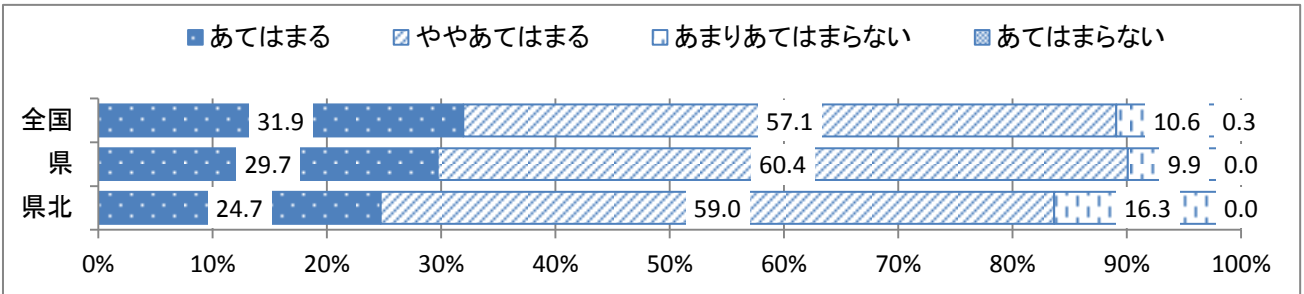
学校質問（28）学習指導と学習評価の計画の作成にあたって教員同士が協力し合っているか。



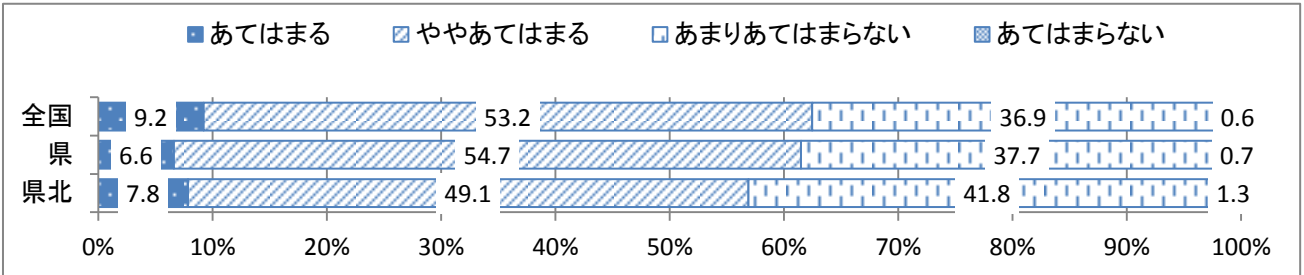
- 県、全国を上回り、半数以上の割合「1 よくしている」ととらえている。教員同士が同じ方向性を向いて、協力体制を整えていることがわかる。
- (53)の「中学校との成果・課題の共有」、(59)の「家庭学習の課題の与え方の共有」についても肯定的な回答に高い割合が見られ、同じ目的に向かって、組織的に取り組む教育集団の姿がうかがえる。これを強みとしてとらえ、課題改善へ向けた取組を進めていくことが期待される。

5 一人一人に力を付ける指導の充実が今後の課題です

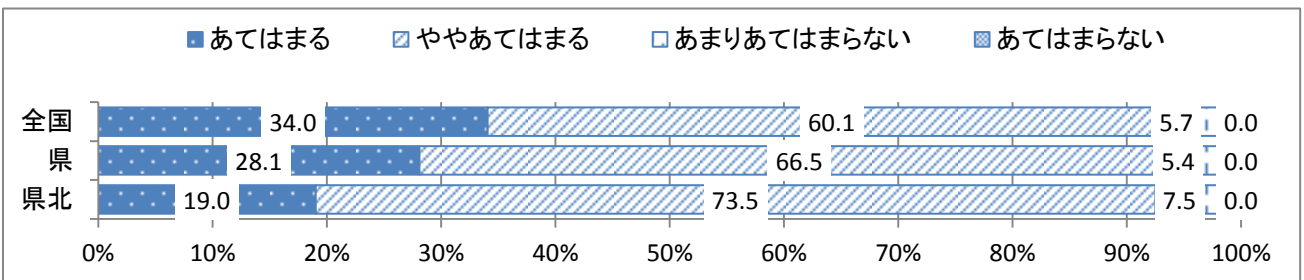
学校質問（39）国語科で補充的な学習の指導を行ったか。



学校質問（40）国語科で発展的な学習の指導を行ったか。



学校質問（41）国語科で目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったか。



- 国語科の授業において「補充」「発展」「目的・相手意識」を意識した授業づくりについて、肯定的な回答が全国や県に比べ、低い割合を示している。
- 補充的な指導に比べて発展的な指導を行う割合が減少する傾向にある。個に応じた指導により、一人一人が力を付ける指導を進めることが必要である。また、国語科に限らず、ねらいを明確にした授業づくりを進めていくことが求められる。